

# 胆 江 日 報 新 聞

## フランス日本学研究所オリヴィエ所長 来県

# ILLC 世界の将来担う

フランスのアルサス欧州日本学研究所(CEEJA)のオリヴィエ・ベシュト所長(42)が16日、前沢の㈱千田精密工業(千田伏二夫社長)を視察。北上市地への誘致実現に向けて取り組みが進む素粒子実験施設・国際リニアコライダー(ILLC)について、「日本の子どもたちや世界の将来を担う重要なプロジェクト」とエールを送った。

### 千田精密工業(前沢)など視察



千田精密工業の工場を視察するアルサス欧州日本学研究所のオリヴィエ・ベシュト所長

財 政   技 術   人 的

## 「支援していきたい」

ヨーロッパにおける日本研究の拠点とされる同研究所。オリヴィエ所長はフランスの国会議員でもあり、欧州の素粒子物理研究の推進にも携わる。同研究所のヴィルジニー・フェルモー統括部長やアルサス日本代表部の後藤淳子さんと初めて来県し、午前は盛岡市のホテルで達増拓也知事らとILLC実現に向け意見を交換した。

午後は、金ヶ崎町の㈱アンソウ岩手と前沢の千田精密工業を視察。千田精密工業では千田雄二工場長(38)の案内で五軸マシンングセンタなどの金属加工に用いる機械を見学し、図面や部品などにも目を通すと日本のものづくりのノウハウに関心を抱いていた様子だった。

視察後、オリヴィエ所長は報道陣の取材に応じ「技術の素晴らしさや正確さだけでなく仕事に対する熱意に感銘を受けた」と笑顔。「全人類が夜空の星を見上げながら人類がどこから来たのか夢を抱く。その夢に添えてくれるのがILLCのプロジェクト。フランスとしても財政や技術、人的な面でもサポートしていきたい」と支援を表明した。

その上で、ILLC実現へは「日本政府がスタートホンを押さなければならぬ」と指摘。「ゴースサインが出れば数十年の間に目の見えるだろう。乗り越えなければならぬ課題は多いが、われわれは岩手の熱意に好意を持って対応したい」と激励した。

「支援していきたい」

その上で、ILLC実現へは「日本政府がスタートホンを押さなければならぬ」と指摘。「ゴースサインが出れば数十年の間に目の見えるだろう。乗り越えなければならぬ課題は多いが、われわれは岩手の熱意に好意を持って対応したい」と激励した。